

三島市防災講演会

洪水・土砂災害は

起こりうることが、

起こりうる場所で



令和3年の熱海市の土砂災害や、令和4年の台風15号による静岡市の浸水被害など、近年は気象災害が激甚化・頻発化する傾向にあります。

内閣府や気象庁などにおいて各種委員を歴任され、災害情報学を専門とする講師より、近年の風水害の特徴や備えについて解説していただきます。

開催日

令和8年3月1日(日)

入場
無料

申込順
120名

時間

午後1時30分～3時30分

場所

順天堂大学三島キャンパス 11番教室

(三島市大宮町3丁目7番33号) ※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用下さい。

講師：^{うしやま}牛山 ^{もとゆき}素行 氏

(静岡大学防災総合センター教授)

信州大学農学部卒業。東京都立大学客員研究員、京都大学防災研究所助手、東北大学災害制御研究センター講師、岩手県立大学総合政策学部准教授、静岡大学防災総合センター准教授などを経て、2013年より静岡大学防災総合センター教授。風水害、特に豪雨災害を中心に、人的被害の発生状況、災害情報の利活用、避難行動などの調査研究に取り組む。日本自然災害学会副会長。



【申込み・問合せ】 三島市企画戦略部危機管理課

申込締切：令和8年2月26日(木)

参加者全員の①氏名②住所③電話番号を危機管理課までご連絡ください。

電話 983-2751 FAX 981-7720

電子申請
QRコードより

